

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼてと（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2006年12月3日		～ 2006年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2006年11月16日		～ 2006年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	面談や評価を行い、一人一人に合った支援を行っています。	半年に一度、評価を基に面談を行い支援内容を決めて支援に取り組んでいる。また、子どもの変化に合わせて支援の難易度を調整しています。	支援の振り返り、改善、対応の統一など職員で共通理解し支援にあたっています。
2	職員の資質の向上を図るために研修を開催する機会が確保されています。	講師を招いたりZOOMを利用し専門的な研修を行っています。	新しい支援の導入や評価の導入を行い児童の支援や職員のスキルアップに繋げていきます。
3	エビベンやAEDなど緊急時の訓練を定期的に行っています。	エビベンやAEDを全職員が使えるように訓練を行っており訓練の中で疑問や不安があればすぐに意見を出し合い解決しています。避難訓練も定期的を実施しています。	今後いろいろな場面を想定した訓練を全職員で行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化ではない。個別の対応やクールダウンする部屋がない。	閉園した園を再利用しているため、バリアフリーは構造上難しくなっています。	バーテーションで環境を整えたり、観光協会を利用します。施設が新しくなる時は個室を作ります。
2	地域交流の機会が少なかった。	地域行事の把握ができていなかった。また計画が遅かったため準備ができませんでした。	地域の行事を把握して年度初めのアンケートで保護者に周知し、早めに準備に取り掛かるようにしていきます
3	保護者同士の交流の機会。	保護者同士が交流する機会が少なかった。	参加しやすい曜日や参加してみたい内容など保護者の意向を取り入れていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ぼとと 放課後等デイサービス				公表日	令和7年 2月 12日		
						利用児童数	66人	回収数	46 (70%)
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	45		1			引き続き、児童の活動スペースを工夫しながら確保していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	1		9		法令で定められた人員である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	3	2	4	建物が古い為、バリアフリーではない。段差がある。	バリアフリーは構造上難しい。施設が新しくなる時は個室を作る。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	4	1		清潔には保ってくれてるが建物の劣化に 気になる。	日々の清掃を継続します。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45			1		面談時に支援の内容について確認を行っております。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	46						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	1				面談時に受けた相談や子どもの困り事を 受け作成しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45			1		放課後デイサービスのガイドラインに 沿って個別支援計画を作成しています。 個別支援計画の振り返りと共に保護者か らの意向を確認し、目標や支援内容を設 定しています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	1		3		活動プログラムの選択肢を増やしてい きます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	28	2	4	12	把握していない。	普段の生活で交流があります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	1		3		今後も周知していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	44	1		1		ノートやラインで連絡しています。必要 があれば直接ご連絡しています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	1				半年に1回面談を行っております。相談 がございましたらご連絡ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	46						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	6	2	9	年に一回は必ずイベントがあり交流の場 がある。	0円バザーなど保護者が交流する機会は 設けているが、不定期開催のため、年に 数回行うなど年間行事に設定していくこ とを検討している。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	2		1		迅速に対応していきます。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	1		1		送迎時やラインなどで共有します。		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	43	1		2		ブログで発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	1		2		個人情報の取り扱いに関しては、今後も十分に留意して扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43			3		マニュアルは、HPに搭載しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43			3		実施した訓練はHPに搭載しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44			2		エビベン訓練やAED訓練を定期的に行いHPに掲載しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	46					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	2				子ども達が安心して通えるように心がけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	5				子ども達が楽しく通えるようなプログラムを提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	46					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ぼてと 放課後等デイサービス		令和7年 2月 12日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		個室がないので、他の部屋を借りて利用する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6		個室がないので施設が新しくなる時、個室を作る。バリアフリーは構造上難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	建物の老朽化はあるが毎日の掃除は行っている。	日々の清掃に努める。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5	個室はないが、パーティションを使い工夫している。	個室が必要な場合は観光協会を利用する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		職員会議で出た改善を実行する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	行動分析や職員会議でのレポート発表を行っている。	職員発信に必要な研修を積極的に発案する。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		公表しております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1		評価を利用し計画していく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2		面談後の支援計画書に目を通してフィードバックする。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3		個別支援計画をもとに話し合い活動内容の検討や立案を行っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		個別支援計画をもとに話し合い活動内容の検討や立案を行っています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2		事前にこどもたちの状況などを把握し、適した内容の集団活動を提供する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4		支援前の打ち合わせで支援内容、子どもの関りを共有する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4		リーダーを中心に振り返りを行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		日々の記録をICTを活用することを検討する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2		地域交流の機会を増やしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	4		課題・活動など選択させる場面を増やします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		誰でも行けるように教育します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		今のところは無いがその準備をする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		機会があれば参加する。スーパーバイズやが必要な時は、離島のコーディネーターに相談する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		普段の生活で交流がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		知名町は参加している、和泊町は出来ないので機会があれば参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			個別に実施したり、対象者を募集して行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		引き続き、保護者が理解できるように説明を行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者がオープンに参加できる機会を検討している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		限られた地域住民の方（民生委員）に訪問していただいている。地域の方々の参観を受け入れていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		今回、サッカーのゴールネットが壊れた状態で放置してあり管理できていなかった。今後はこのような事が無いように管理していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		安全計画があることを周知し実施後はホームページに周知します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			スピーチロックに関して保護者と共通理解します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				